



山野中学校校歌 (木下夕爾 作詞 高田信一 作曲)

- 一 真理の鐘のひびくところ 光る窓光るいらか 晴れわたる知恵の青空
友よ見よわが山野中学の あふれくるあふれくる 望みと力
- 二 純潔の旗なびくところ 山と水かくもさやか 大いなる未来を語る
友よきけわが山野中学の わきおこるわきおこる 若き歌声



山野盆地を貫流する山野川の土手にコスモスが咲いています。この川の正式名は小田川です。神石高原町小畠に発し、芳井天神の森の下を流れ、井原矢掛を経て、ゆくゆくは高梁川に合流し、瀬戸内海に注ぎます。加茂から峠道を上って七曲りのトンネルを抜けると、ここからは高梁川水系。文字どおり山紫水明の郷。川面には周囲の山々が映えています。夏のシーズンには太公望が鮎の友釣りの腕を競います。土手沿いに桜並木が見えます。桜並木の背後、丁度、画面の真ん中に映っているのが私たちの山野中学校です。今年（平成23年度）は生徒数17名となりました。中学校の横に見えるのは山野小学校です。小中学校の背後の弧状の小高い山は戸屋ヶ丸といいます。かつて大昔、ここにはお城がありました。鎌倉幕府の初期、地頭佐々木重綱が築城したと郷土史は伝えています。戸屋ヶ丸の背後をたどっていくと山野峡にたどりつきます。また、画面左手奥の山を馬乗山といい、ここに観音さまが祀ってあります。有名な馬乗観音です。また、幕末の頃この山頂付近に福山誠之館分校があったといわれています。

しかし私たちの美しい町、山紫水明の山野も、近年随分と人の数が減ってきて、少々寂しくなってきました。

学校が創立されたのは、昭和22年4月。深安郡山野村立

山野中学校として出発しました。初代校長は米山の藤原長逸氏、昭和23年の最初の卒業生は87名。同年5月山野中学校にPTAが結成されたとのこと。その後、昭和39年ごろを境に、生徒数が徐々に減って今に至っています。

2010年（平成22年）3月現在の市の町別人口一覧表によると、山野町の人口は820人、世帯数は347。高齢化率は48%。

生徒数が減ってきたとはいえ、学校は学校。子どもたちは常にフルメンバーフル出場です。

今年も刻々と移り変わる季節とともに、確かな日常が続きます。

2011年（平成23年）4月7日

校長 浦上 武